



【碑文】  
 (正面) 大和田街道  
 梅田街道  
 (左側面) 北区西天満から  
 (上面) 北  
 3.5km

(所在地) 海老江六丁目一―二二

道標 どうひょう  
 大和田街道 おおわだかいどう  
 梅田街道 うめだかいどう



(所在地) 海老江四丁目三―二 大阪海老江郵便局向かい

明治三二年頃は両街道の名は無い。淀川改修前で中津川は蛇行していた。明治三六年発行の『大阪府誌』に初めて梅田・大和田（通称神阪街道）街道が書かれている。現在の国道二号線に引き継がれている。

道標は、国道二号線に続く道にほかに二つある。



## 【碑文】

### 大和田街道・梅田街道

この街道は 北區西天満一丁目を起点とし 福島区 西淀川区を經由して尼崎に通じる  
明治期の物資流通道路であった

起点から西進し 堂島 梅田 出入橋を經由し かきつばたで有名な浦江の聖天の南を  
通り 珍しい神事が残る海老江の八坂神社のかたわら 国道2号沿いを北に進み 淀川  
を渡る 姫島神社を右にみて 大和田を通り 佃漁民ゆかりの地の佃を經由して 尼崎  
市大物町に至る 街道は 古くから阪神間を直結する重要路線の一つとして 西国往来  
の人や 尼崎 西宮 兵庫の商人など行き来する人が多かった

平成13年 大阪市

<地図> 明治40年当時